

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成 25 年度 第 10 回理事会議事録

日 時：平成 26 年 2 月 19 日（水）19 時 00 分～21 時 30 分

場 所：都臨技事務所

出席者：下田、千葉、小松、宮崎、高城、中西、鈴木、原田、三橋、工藤、土橋、蝶名林、佐藤、杉岡、小山、
多田、大野、星野、東海林監事、板垣役員選出委員

1. 理事行動報告

1 月 16 日（木）	地域保健共催部会	佐藤、多田
1 月 20 日（月）	学術部会	高城、蝶名林、
1 月 24 日（水）	STI 員会	佐藤、
1 月 6 日（月）	表彰選考委員会	工藤
2 月 5 日（水）	都臨技監理会議	下田、千葉、小松、宮崎、高城、原田、鈴木、工藤、小山
2 月 6 日（木）	組織部会	三橋、多田、蝶名林、小山、松村、佐藤、原田、杉岡

2. 報告事項

(1) 平成 25 年度第 9 回理事会および第 9 回監理会議 の議事録内容確認
→承認された

(2) 各部局報告

【報告事項】

○組織部会

1) 部長報告

①施設連絡者会議

2 月 7 日午後 7 時～：社会保険中央病院にて開催
施設連絡者 48 名参加

②4 月からの支部学術研究版の方々へ打診を行った

2 月に行う支部会へ学術研究版の方々へ打診を行った
4 月開始にあたり、行事予定表への掲載や今後の方向性を共有することが目的

③次年度からの幹事移動や退任についての詳細を 3 月中旬までに取りまとめる

→4 支部活動が 4 月からできるよう前段階で日程調整を図る等決めておく必要がある
→2 月の幹事会で調整終了

2) 各支部（地区）報告

①東支部：公開講演会「生活習慣病予防に向けて、血管年齢を理解しよう！」について

日時：平成 26 年 3 月 1 日（土）14：00～

会場：タワーホール船堀 4 階研修室

講師 1) 「生活習慣病予防・改善のための末梢血管血流測定」

講師 太田雅也 先生(株式会社フューチャー・ウェイブ)

2) 「生活習慣病-健康診断結果と食事・運動の観点から」

講師 由良 明彦 (美穂診療所)

②西支部：特記事項無し

③南支部：公開講演 ZUNBA 2014 年 2 月 8 日（土）14：30～

参加者 一般 8 名、会員 6 名 計 14 名

④北部地区：特記事項無し

⑤フォーラム委員会

・第 13 回都臨技フォーラムについて

平成 26 年 1 月 13 日（土）15：00～18：30（株）堀場製作所 東京セールスオフィス

テーマ：「これが聞きたい！！チーム医療～救急医療！求められる臨床検査技師の役割と可能性～」

講師：①亀田総合病院臨床検査部 部長 大塚 喜人

②日本医科大学付属病院 中央検査部 柴田 泰史

③日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 講師荒井正徳

参加者 会員 89名 非会員 1名 計 90名

2) 検討及び確認事項 特記事項なし

○地域保健共催事業部（渉外部）

報告事項 特になし

<検討事項>

1) 平成 25 年度第 2 回学生対象講演会について

テーマ：「臨地実習にむけた心構え～知らなくてはいけないこと・やるべきこと～」

日時：平成 26 年 1 月 25 日（土） 14：00～16：30（13：00 集合、13：30 受付開始）

場所：社会保険中央病院 4 階講堂

担当：司会 神保、会計 林

プログラムと当日の流れについて確認した

2) 平成 26 年 3 月卒業生への技師会 PR について

技師養成校にアンケート（卒業生人数・説明会役員派遣有無について）と、前年の配布物を同梱して発送済み減免入会については、12 月監理会議にて昨年同様実施することを確認した

各校の送付枚数が確定次第印刷にまわすこととする（昨年は 700 部作成）

3) 次年度事業・予算案について

新規事業として、検査と健康展、教育施設連絡者会議、リレー・フォー・ライフ（RFL）

教育施設連絡者会議では、学生対象講演会、学生会員、卒業生の技師会案内等について意見交換を行う

検査と健康展については、都学会とは別日程で開催する

RFL は、参加者が寄付金払って参加する事業なので行動費は発生しない

追加予算として、絆創膏作成、乳がんお風呂シール作成、公開講演を申請する

すみだ健康まつりについては、開催の再確認をする。森幹事

公開講演については、開催形式について意見が交わされた。病院や他団体との共同開催、また、座学に限らずパネル展示や参加型も提案された。事業名も再考必要か？

4) 地域保健共催部内規について

幹事へメールにて配信し、再確認と意見を募る→理事会での審議事項

○学術部

<報告事項>

1) 前回議事録内容確認

新春の集い 1 月 10 日に行われ、都臨技学会優秀演題賞の表彰もこの時に行われた

研究班幹事を含めた支部幹事会の日程が決まり次第連絡する

2) 理事会報告

・「個人情報の保護に関する基本方針」について改訂して新しくホームページに掲載する。

・施設連絡者会議が 2 月 7 日に社会保険中央病院にて開催される

・研修会場を備えた新しい事務所を取得するために物件を検討している

・代議員選挙について今回は 1 名記名方式で実施された。施設連絡者に投票用紙が発送されない不備があり遅れての発送となった。

・表彰選考委員会より日臨技学術奨励賞 2 例を推薦、小島三郎記念技術賞・福見秀雄賞に各 1 名推薦

平成 26 年 1 月 10 日（金）19：00～開催の新春の集いについて幹事に連絡する。

・中間監査報告：予算のついでいる事業をしっかりと執行する。

3) 編集委員会報告

・今年から会誌タイトルが「東京都医学検査」に変更され、デザインも変更される。

・英文タイトルが「Tokyo Metropolitan Journal of Medical Technology」に変更される。

・研究班担当の要旨や特集の原稿については図が多すぎたり図の番号がなかったりなどの不備があるまま入稿されるケースがあるので、編集委員が不慣れな場合は研究班で事前に原稿を確認するなどフォローをお願いしたい。

- ・次回5月号の特集は公衆衛生研究班
- 4) 生涯教育委員会報告
 - 12月分として、研修会4件241名、自己申告7件44名の登録があった
- 5) 学会運営部
 - ・第10回東京都医学検査学会について研究班企画が予定されているので早めに準備をお願いしたい。
- 6) 東放技の原稿について
 - ・1月（生理検査）、2月（情報システム）、3月（一般検査）、4月（公衆衛生）
 - ・原稿依頼書は東放技から発行してもらえるので、必要な研究班は連絡する。
- 7) 会計について
 - ・平成26年度予算案を2月3日までに提出する
 - ・会計案の共催費用に関して、会場費と講師料は折半とし、源泉徴収の金額は研究班負担とする。
 - ・会場費は2500円で計上する。
 - ・実技講習会の予算について、できるだけ参加費3000円で計上する。
 - ・特別講習会許可願い、共催許可願いについて、予算案と事業計画案で承認されれば提出しなくてよい
 - ・実技講習会の予算は研究班年度の会計に組み入れる
- 8) 日臨技推進行事について
 - ・現在採用が16件で申請中が3件になっている
 - ・年間20件までとなっているのであと1件を公衆衛生が登録する
- 9) 次年度幹事について
 - ・次年度の幹事は3月の理事会で承認が必要なので、リストを3月10日までに部長に提出する。
 - ・班長が交代する研究班は4月の学術部会に新旧の班長が出席する。
 - 幹事等の推薦には候補者の業績、担当業務経験等を付けて提出する
 - 庶務で業務経験、学会発表、論文等の記載用ひな形を作成しメールで回す。情報を集約して判断材料とする。

<討議事項>

- ・研修会講師依頼状に記載する要旨原稿の書き方について内容を検討する
- ・次年度事業計画は前期分のテーマを入れて3月20日までに提出する。

○庶務部

<報告事項>

- ・現在の会員数及び賛助会員数の報告（平成26年1月31日現在）
- 会員数 4,522名（平成24年度会員数 4,242名）
- 平成25年度賛助会員数 78社（平成24年度賛助会員数 80社）

○事務局

<活動報告>

<2月の事務局の主な活動>

- ・新春のつどいの出欠席のとりまとめから出席者のリスト作成
- ・新春のつどいにおける都学会優秀演題表彰状作成 3件
- ・代議員選挙投票用紙の受け取りと色別の仕分け作業
- ・各技師養成校からの卒業式出席依頼のとりまとめ
- ・平成25年度医療従事者 ネットワーク講演会の出席者のとりまとめ
- ・厚生労働省委託事業（平成25年度チーム医療推進事業）

<都臨技ホームページについて>

- ・HP経由の会員、非会員からの問い合わせに対応 3件

(3) 各委員会報告

○生涯教育制度実行委員会

<報告事項>

- ・生涯教育対象行事（11月）
- 都臨技研修会 9件 登録者数 413名
- 報告書に数値が記載されていない1（化学）は49名、5（一般）は23名

・申告 会場研修 2件 登録者数 2名

○表彰選考委員会

病院長の押印が必要なケースがあり、時間がかかったが申請済み

都臨技功労賞は都臨技の役員は対象外、また東京都には困難職場はないという見解のため該当なし

○STI予防委員会

<報告事項>

①STI予防教室

日時:11月30日(土) 10:00~15:00 会場:中池袋公園

参加者:板橋、上前泊、大久保、片岡、加藤、佐藤(美)、杉本、中山、原田、松田、松村、水野、森

内容:

(1)「クイズに答えてあうるぼん」 STIに関するクイズ、的当てゲーム、景品(コンドーム、絆創膏、飴)の配布
当会ブースへの来場者約100名

(2)レッドリボンパレード

エイズフェス終了後、他団体、ボランティアと共に池袋周辺を歩き、STIの予防を呼びかけた。

<検討事項>

①来年度事業・予算案の決定

- ・公開講演に関しては地域保健共催部会で、事業・予算案に加わることが確認された。内容はSTIに限らず、がんや生活習慣病など様々なテーマから検討する。
- ・参集方法としては、他団体との合同開催、病院が地域住民を対象に行っているセミナーや研修会に共同参加する等、少しでも多くの人たちに聴講してもらえるように、地域保健共催事業部会で出された案を確認した。
- ・会員向け研修会を開催するためには、以下の二点を目的として内容を検討する。

(1)来場していただいた会員にもSTI予防活動に興味を持っていただき、共に活動出来るようにする事

(2)会員のスキルアップによってSTI予防活動の質を向上させる事。

- ・研修会の回数は2回開催だと負担が多くなるとのことで、公開講演開催の可否にかかわらず1回開催とする事とした。
- ・街頭活動については、実施する方向で話し合いがされた。開催場所としては八王子と吉祥寺の2ヶ所を予定。配布物としては、絆創膏とし次年度予算に「絆創膏作成費用」を計上した。(その他、配布物としてコンドームなど)
- ・神奈川エイズフォーラムは再来年度の参画を予定して、次年度は見学に留める事とした。
- ・次年度では他団体との交流を更に深めたいとの目標を立てた。

②リーフレットの検討

- ・現在作成中である「STOP!STI」のリーフレットに関して、配色、レイアウト、文章の校正等の検討を行った。
- ・配色に関しては今後いくつかのパターンのサンプルを比較し検討する。
- ・次回の2月理事会でリーフレットの原案を提出したい。しかし配色の決定まで時間がかかることもあり、リーフレットの内容のみを理事会で審査してもらうことにした。

③技師会ホームページの検討

- ・今年度中に1ページは作成するとの目標を立てた。
- ・ホームページの作成順序としては、まずトップページを作成してから具体的な内容を充実させていく。
- ・具体的な内容としては、一般向けにQ&A、STI検査を行っている保健所の一覧、活動予定表、STIの症状等、メンバー紹介、体験談等を予定。
- ・今年度の委員会は今回が最後になるので、リーフレット作成及び技師会ホームページに関して意見や案がある場合は、メールでのやり取りにて活発に連絡を取り合うことを確認した。

3. 審議事項

○庶務部

・新入会8名が提示され審議の結果、承認された。

○支部

支部運営規程(案)について:すでにメールで配信されている。

→支部運営に支障をきたさないよう現状で治すべきところなどについてメールで意見を集約する。期限は2月一杯。

○地保部:地域保健共催部規程(案)について:支部運営規程同様メールで意見を集約する。期限は2月一杯。

○学術部:講師費用について上限5万円という規定であるが、学会に関しても同様の規定を当てはめるのか

→学会の特別講演など、上限5万円ではテーマや講師選定において制約が出てしまう。学会の全体予算の範囲内に収まるのであれば別枠としても良いのではないか

→原則上限5万円として、学会に関しては理事会の承認をもって例外を認めるとする。学会に関するこの内容を規定に盛り込む。

○データ標準化・精度管理調査・検査室認証委員会：認証制度についてのアンケートを実施し、結果について集計した。この内容についての意見は付け加えず、東京都としての結果として日臨技に報告する。→承認された。

○個人情報保護に関する基本方針：

1. 基本方針の項について「日臨技の方針のもと」ではなく大本の「個人情報保護法に則り」とする。

2. 組織活動(3)の「会長レビューに基づき」は「法及び条例に照らし」とする

→以上2点について修正し、方針については承認。ホームページに掲載する

○個人情報保護管理規程：2月28日までに意見・提案を収集してから決定する。

○編集委員会：東広社契約書→契約2年延長

役員の切り替わりに合わせて2年単位で契約更新している。

→今後は発行部数を変更する、他社見積もりと比較するなど金額の妥当性を検討する。

→乙：東広社なので委託者ではなく受注者もしくは受託者に訂正する。

○会計部：平成26年度予算案

管理会議の指摘を受けて調整。科目振り分けが以前とは異なるため差額を表示している。メール配信するので、各部局で差額の大きいところに注意し事業ごとにあっているか、確認する。

○リレー・フォー・ライフ・ジャパン町田後援について：主催はリレー・フォー・ライフ・ジャパン上野と同じで、同様のイベントを町田で行う活動。→承認

○代議員選出に関する意見

前回理事会宛に届いたものの他、副会長、代議員選出委員会、選挙管理委員会等同様のものがさらに4通届いた。都外の自宅会員には所属がないため、昔の職場を所属として取り扱ってほしい要望であり、規程に則り北支部に振り分けられた今回の選挙について再選挙を要望する内容もあり。

→すでにHP上にて選挙規定に関する説明不足について説明済み。再選挙は行わない。

→再選挙に関する見解や次回に向けて希望性も取り入れることを検討するなど、納得が得られるよう各宛先より内容に合わせた返答を行う

○委員会、幹事の体制について

役員選出委員会より役員選出規定(案)の追加事項を提案されている。支部化体制になるにあたって各委員会の委員の任期、どの母体から何人ずつ選出するかなどの選出方法を見直す必要がある。

・任期：委員は3月まで、役員は6月までの2年。継続も認める。

・定数：現在の幹事が継続して委員会を構成している現状を検証して望ましい方向へ変えていく。

・表彰選考委員は賞の中身がわかっている人が委員となるのが妥当。規程で取り扱いが庶務となっているため、庶務で推薦して理事会で承認する。

・役員選出委員は一般会員から選出する。

・委員の選出について各部局の現状について情報を共有して選出の仕方を次回の理事会で決定する。

4. その他

日臨技会長候補者の立候補者は現会長の宮島氏のみ

下田会長の所属視施設のシステム障害のため現在メールで連絡が取れない状況。

残金の回収は3/12、13で行う。間に合わない場合は連絡を会計部まで。

次回監査の候補日：4/8, 9, 10

平成26年2月19日(水)
公益社団法人東京都臨床検査技師会

議長
(下田)

下田 勝二 

監事
(東海林)

東海林 治三郎 